



伊豆市

# 議会だより

## No.50

発行:伊豆市議会 <http://www.city.izu.shizuoka.jp>

編集:議会広報委員会

〒410-2413 静岡県伊豆市小立野38-2

TEL 0558-72-9906 **2016.11.1発行**



### 目次

■ 修善寺東こども園稲刈り .....	表紙
■ 9月定例会の概要 .....	2
■ 一般質問 .....	7
■ 議員間討議 .....	9
■ 行政視察を実施しました 他 .....	10



TOKYO 2020  
OLYMPIC GAMES



TOKYO 2020  
PARALYMPIC GAMES

HOST VENUE



平成27年度決算の認定



一般会計の歳出総額は、161億2,699万円でした。

平成27年度各会計決算総括表

Table with 4 columns: 会計名, 歳入, 歳出, 差引き額. It lists various accounts like '一般会計', '特別会計', and '企業会計' with their respective income and expenditure figures.

各常任委員会の審査では次のような質疑がありました

◆一般会計歳入歳出決算の認定

問 修善寺駅西口広場は、当初予算に比べ決算が約500万円増加した理由と、この広場の今後の活用方法は。

答 当初設計になかった芝を植えるための土壌改良やパーゴラを設置して喫煙所としたこと、広場の舗装を色彩に配慮してグレードアップしたなどの変更があったためです。また、今後の活用については地域の活性化につながるような形で利用できるよう協議しています。

※パーゴラ…つる性の植物を絡ませる木材などで組んだ柵

問 新中学校周辺整備基本構想策定業務委託料とは、どの範囲の基本構想か。また、文教ガーデンシティ事業の用地測量等業務委託料5千400万円は、どの範囲を測量したのか。

答 新中学校周辺整備基本構想策定業務委託料とは、どの範囲の基本構想か。また、文教ガーデンシティ事業の用地測量等業務委託料5千400万円は、どの範囲を測量したのか。

◆水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定

問 市内の水道管の総延長は400km程で今のペースで布設替えをすると200年かかるとい話を聞きましたが、今後の維持管理の見通しについてどのように考えているか。

答 総延長の布設替えには長い時間がかかります。いろいろな補助金の活用や、漏水個所の多いところから順に布設替えを行うことにより有収率を確保し、今後も予算に見合った投資をしていくという考えです。

◆介護保険特別会計歳入歳出決算の認定

問 総合支援事業により、利用者の負担は安くなったが、逆に、事業者は収入が減ってしまうが、どう

答 基本構想策定業務は、新中学校を中心とした約12ヘクタールの全体エリアをどのようなまちにするかという基本構想策定のための業務委託です。有識者会議やワークショップを重ねて策定しました。

問 用地測量業務は、構想エリア約12ヘクタールの測量であり、エリア内には建物もあるためその補償をする場合の算定も合わせて委託しました。

問 地域資源掘り起こし業務委託は、3千件の地域資源を座標情報のある写真データとテキストデータにしたということです。このデータを具体的にどのように事業展開していくのか。

答 このデータをコンピュータでシステム化して、観光協会、商工会、JAで共有して使えるような形を考えています。現在、産業振興協議会の法人化を目指しており、その仕組みができたときに、このソフトを入れ込み活用するとともにインターネット上でも公開したいと考えています。

問 伊豆市では、出来高単価を設定していますが、事業所にヒアリング調査を実施した所、月単位でやって欲しい事業所と、このままがいい事業所が、半々位でした。今後、他の市町の状況を見極めたうえで、事業者とも話し合いながら、次の単価を検討したいと考えています。

討論

平成27年度一般会計 歳入歳出決算の認定

賛成討論 (飯田 正志議員)

歳入については、もう少し収納率を上げる努力が必要だと考えますが、歳出については必要に応じた事業を確実にやってきたと考えられます。よって、平成27年度の予算に対する執行状況は概ね達成できたと考えられる。これを踏まえて平成28年度の進捗状況を見ながら平成29年度の予算編成に活かされることを期待する。

問 生活困窮者自立支援事業に関わった人数・状況・成果・支援の体制について説明を。
答 新規に相談を受けた人数は54名で、そのうち就労支援計画を立てた方は6名で、3名が就労に繋がりました。支援体制については、主任相談支援員と相談支援員、就労支援員を配置し、ハローワークへの同行訪問や、履歴書の作成指導、面接対策の他、求人の開拓や就労のフォローアップ等を行っています。また、就労に至らなかった方については、継続的に支援をしています。

問 在宅医療連携推進事業計画の方針と、計画書を策定した中で出てきた今後の課題は。
答 「重症化の予防」、「介護予防」、「安定と安心した生活ができる適正な介護」、「急変期の後方支援病院との連携」、「看取り」の5つの分野に分け、個々に計画を立て、目標値を定めました。課題については、訪問看護ステーションが係わった在宅での「看取り」が、2年間で20件ほどであったことから、市民に「在宅でもやっていけ

る」ことを啓発して行きたい。
問 外国語指導助手(ALT)業務委託料について、ALTに指示をし、オリンピックを見据え、実践的に英語は役に立つということを教えているのか。
答 オリンピックに活かせるような英会話の指導ということでは指示をしていますが、小学校は、「聞く・話す」、中学校では、「聞く・話す・読む・書く」という観点で、今は、「聞く・ネイティブで話す」も十分取り入れています。個人差もありますが、子どもたちは、外国人と触れ合うことに抵抗がなく、うまくコミュニケーションがとれるようになっていと感じています。

問 図書館協議会において、「指定管理者制度や、分館に関する検討をしている」とあるが、進捗状況は。
答 指定管理者制度の導入については、委員の意見を聞き、協議会での意見を集約しようとしたが、賛成・反対がほぼ同数で、継続審議となりました。分館につい

ては、委員の意見を聞き、協議会での意見を集約しようとしたが、賛成・反対がほぼ同数で、継続審議となりました。分館につい



平成28年度補正予算

◆一般会計補正予算(第4回)
天城湯ヶ島IC周辺整備のため
の調査業務委託850万円、
IT企業誘致基本計画策定委託
370万円、市内公的病院等補助
金2億1千620万円、文教ガ
ーデンシティ事業に係る新中学
校敷地土木造成実施設計業務委
託2千50万円ほか、基金積立金
4億2千450万円など、総額
6億9千580万円を増額するも
の。

平成28年度一般会計は、
総額 173億5,012万円
となりました。

介護保険特別会計補正予算(第1回)

平成27年度介護給付費等の精
算に伴い、超過額を国、県、一
般会計にそれぞれ返還するため、
1億47万7千円を増額するもの。

下水道事業特別会計補正予算(第1回)

平成27年度決算に伴い、不足し
た平成27年度分消費税を納付す
るため、741万5千円を増額す
るもの。

各常任委員会の審査では
次のような質疑がありました

◆一般会計補正予算(第4回)

問 ゴルフ場協議会補助金175
万円について、まだ実態もない団
体にどうして補助金を支出しよう
とするのか。

答 この協議会は9月12日に設立
されることになっています。昨年
度から協議され、設立準備会を経
てようやく設立の運びとなりました。
今後の観光振興においては、



▲ゴルフ場協議会設立の様子

問 天城湯ヶ島インターチェンジ
周辺整備検討調査業務委託850
万円の補正予算がありますが、な
ぜ平成29年度の当初予算への計上
ではなく繰越明許費なのか。

答 現在、仮称天城湯ヶ島インタ
ー整備にあわせ、その周辺を道の
駅とする基本計画を進める上で、
土地の購入が必要になります。が、
地権者への課税の特別控除の特例
を適用させるためには、地域振興
施設の事業認定手続が必要である
ことがわかりました。これには、

条例の改正

◆農業委員会の選挙による委員の
定数に関する条例の全部改正
農業委員会等に関する法律の改
正に伴い、農業委員会の委員及び
農地利用最適化推進委員の定数を
定めるもの。

◆農村公園条例の一部改正
伊豆市農村公園条例の引用条文
のずれを訂正するもの。

◆運動施設条例の一部改正
市で管理している狩野ドーム及
び狩野グラウンドについて、指定
管理者に管理させるため、所要の
改正を行うもの。

その他

◆市道路線の変更
横瀬大平線改良工事に伴い、市
道横瀬大平線に接続する市道梁見
2号線の終点位置の変更を行うも
の。

報告

◆平成27年度伊豆市一般会計予算
の継続費精算報告

◆平成27年度伊豆市健全化判断比
率の報告

◆平成27年度伊豆市資金不足比率
の報告

◆専決処分の報告について
(交通事故に伴う和解について)

討論

平成28年度一般会計
補正予算(第4回)

反対討論 (木村 建一議員)

教育を選ぶ権利を持つ生徒と保
護者などが、排除されています。
新中学校の配置や内容を理解して
いないのに、実施設計委託をする
のか。また、全体の基本設計が終
わらないのに、中学校敷地の実施
設計を委託するとはどういうこと
か。9年間バス通学する子どもが
多数になっても、故郷と思えるだ
ろうか。こういうデメリットを熟
議したのでしょうか。

賛成討論 (山田 元康議員)

今回の補正は、6億9千580
万円増額するもので、その内、天
城湯ヶ島IC周辺整備検討調査業
務、土肥火振橋歩道橋調査設計業
務委託や、市内公的病院への補助
金、また、財政調整基金へ積み立
てる予算など、市民が元気で住み
やすい伊豆市であるために、計画



▲新中学校のイメージ図

手続に1年弱かかることから、3
月までには間に合わないことが明
らかになったため、今回補正をお
願いし、さらに繰越明許費として
計上するものです。

問 中学校再編事業の造成実施設
計業務委託料について、土木造成
基本設計がまだ終わっていない段
階で、造成実施設計の予算を計上
するのか。基本設計ができてから
にすべきではないか。

答 基本設計は終わっていません
が、中学校に係る部分を先行で実
施し、そのデータを吸い上げなが
ら、実施設計を作っていくという
考えております。





平成28年第3回(9月)定例会で審議した議案

■賛否が分かれた議案

件名	議決結果	永岡康司	三田忠男	小長谷朗夫	山下尚之	山田元康	青木靖	大川明芳	梅原正次	小長谷順二	西島信也	森島吉文	室野英子	飯田正志	木村建一
決算の認定															
平成27年度伊豆市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×
平成27年度伊豆市公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
平成27年度伊豆市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成27年度伊豆市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成27年度伊豆市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成27年度伊豆市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	可決 認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
補正予算															
平成28年度伊豆市一般会計補正予算(第4回)	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×

※1 ○賛成 ×反対  
 ※2 議長(杉山誠)は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。

■報告及び全会一致で可決した議案等

専決処分の報告について(児童手当の認定請求に伴う和解及び損害賠償の額の決定)	平成27年度伊豆市吉奈財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
専決処分の報告について(施設管理事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定)	平成27年度伊豆市月ヶ瀬財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
平成27年度伊豆市一般会計予算の継続費精算報告について	平成27年度伊豆市田沢財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
平成27年度伊豆市健全化判断比率の報告について	平成27年度伊豆市矢熊財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
平成27年度伊豆市資金不足比率の報告について	平成28年度伊豆市介護保険特別会計補正予算(第1回)
平成27年度伊豆市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	平成28年度伊豆市下水道事業特別会計補正予算(第1回)
平成27年度伊豆市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	伊豆市農業委員会の選挙による委員の定数に関する条例の全部改正について
平成27年度伊豆市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	伊豆市農村公園条例の一部改正について
平成27年度伊豆市温泉事業特別会計剰余金の処分及び決算の認定について	伊豆市運動施設条例の一部改正について
平成27年度伊豆市持越財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	市道路線の変更について
平成27年度伊豆市市山財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	専決処分の報告について(交通事故に伴う和解について)
平成27年度伊豆市門野原財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	

質問

文教ガーデンシティ構  
想わかりやすく説明を



(青木靖議員)

①新中学校について、修善寺・天城・中伊豆の3校を統合する必要性と、校地を日向とする  
 妥当性を説明して下さい。  
 ②文教ガーデンシティ構想全体の事業を実施しても、伊豆市の財政の健全性が確保されるのか、説明して下さい。

長答

新中学校の統合の必要性  
校地を日向とする妥当性

①今後十年間で三中学校の生徒数は211名減少し、学級数も5クラス減となり、部活動の選択の制約やクラスに応じた教科担任の不足が想定されます。

生徒のよりよい学習環境を整えるため、交通の利便性が高く美しい環境を求め日向地区の農地を候補地として選定しました。

市長答

②実質公債費率・将来負担比率は上昇しますが、健全化基準の数値は、大きく下回っており伊豆市が財政破綻する危惧はないものと考えます。

質問

天城湯ヶ島支所移転は、  
出直しを求める



(木村建一議員)

地域住民の願いではなく、東京ラスクの意向のための天城湯ヶ島支所移転は問題です。いくらで売るのが貸すのか市民は知りません。ましてや、移転のために市民の税金を使う。ラスクがどのように地域貢献するのかわからない。市長の想いだけで進めるのは、主権者の立場を軽んじるものです。出直しを求めます。

市長答

商業地域として  
市山地区は発展させたい

湯ヶ島地区で説明会を開催したり、個別に意見を伺ってきました。寂しい、にぎわいがほしい、職場がほしいと言います。

今から2年少々で月ヶ瀬インターが出来、大量のお客様が必ず湯ヶ島を通ります。おしゃれな施設が出来ると必ずお客様は立ち寄ります。このチャンスに、一定規模の商業施設にして、将来、商業地域として市山地区を発展させたい。それは必ず地域の皆様の役に立っていくと確信しています。



### 質問 生活習慣病予防を強化



(室野英子議員)

人口減少により、高齢化率は増加します。健康寿命を延ばし、市民の生活の質を高めたい。民生費削減につなげましょう。

①介護予防の体操教室を身近に広く普及を。  
②生活習慣病が県内で特に多い。重症化予防に、医師や保健師の徹底指導を。  
③歯周病が健康に深く関わるので、高齢者向け歯科検診の再開を。

### 市長 健康寿命の延長は きめ細かな手立てと配慮を

①現在、11地区の公民館で、ロコトレOB会が自主的に開催されています。今後もより身近な場所で開催できるような検討や、ボランティアスタッフ育成の教室を開催して増やしていければと考えています。

②特定健診の結果、要受診と判定された方には、家庭訪問や健康相談により保健師等が医師と受診者との繋ぎ役を果たしています。今後も継続と強化に努めます。

③高齢者の歯科衛生は、歯科衛生士による歯周病検診の受診勧奨を実施していきます。

### 質問 伊豆市ブランド 推進計画の策定



(小長谷順二議員)

地域間競争が激化する中、伊豆市が訪れたい、暮らしてみたい、住み続けたいまちとして、市内外の人々から選ばれるまちになる為に、歴史・自然・景観・風土・特産品・文化・先人など、伊豆市に誇りや愛着をもって生活することを目指す『伊豆市ブランド推進計画』策定の考えはありますか。

### 市長 まだ検討していない いずれから考えよう

全国で20位前後の地域ブランドランキングに入っており、伊豆のイメージはいいんだろうなと思います。伊豆市のホームページというのは、市民の方も使うし、観光の方もかなり使っている。ブランド推進計画というものが個別の計画として必要なか、あるいは、全体の総合的な政策の中でやっていくのか、まだ検討しておりませんので、いくつかの選択肢の中で考えていきたいと思っています。

### 質問 福島県三春中学校 視察から見たこと



(小長谷明夫議員)

平成25年4月、町内4校を統合し、学年型教科教室型の中学校として新三春中学校が開校しました。そこで視察から感じたことの中からいくつか伺います。①三春中学校の学年型の教科教室型の総括的な評価は。②ホームルームのない学校運営やそこで学ぶ生徒の姿は。③今進めようとしている本市の新中学校への導入にどう関連付けましたか。

### 市長 学級づくりの根幹は 教科教室の設置から

①三春中学校の学年型教科教室型は、一つの教室を教科教室及びホームルームとして使っているため、学級というまとまりが薄れているように感じました。

②自分たちの学級目標や体育祭で頑張った賞状が貼られた自分たちの教室があつてこそ、生徒は学級帰属意識や仲間づくりがより育まれるものだと思います。

③ホームルームの設置、教科ごとまとまった教科教室の設置、生徒の居場所の確保、教師の教科教室経営の力を磨き、研修の充実が重要だと思います。

### 質問 第二次伊豆市 総合計画を問う



(三田忠男議員)

主権者である住民がいつまでも住み続けたいと思える伊豆市になるために、市長の一番大切にしている信条を伺います。

この計画の「肝」は何か伺います。協働のまちづくりのため、施策・事業の進捗過程を含めた情報公開の周知徹底を求めますが、いかがですか？丁寧な説明責任を求めますが、現状はいかがか？

### 市長 使える総合計画

我々がいま、観光のお客様も心地よいと感じてくれるような、そんなまちでありたいと思っています。

今回は、市長の意思も強く入れ、使える総合計画でありたいということが、この計画の肝になっています。

また広報紙が唯一市の広報手段になっていますが、どうしたら全員にお知らせできるかということを考えてみたいと思います。

### 議員質問討議

第2委員会では、平成28年度一般会計補正予算(第4回)新中学校敷地土木造成実施設計業務委託料2千50万円について、議員間討議を行いました。

**青木** 新中学校を創ることは計画的に進められてきており、3中学校を統合する必要性、校地を日向とする妥当性、資金面でも現在の校舎を長寿命化する場合と比較した説明があり、問題はないと考える。子どもたちにより良い学習環境を提供できるよう配慮がされていると確信している。

**三田** 今回の補正予算については、地権者等の理解を十分踏まえた上で執行していただきたい。

**大川** 校地を日向とすることは、私の周辺の保護者からは妥当であると聞いている。修善寺中学校を使うことは、市道柏久保線が非常に狭く危険である。

**杉山** 生徒数の減少により十分な教育を受けられない、好きな部活を選べないという子どもからの声を聞いている。現在の修善寺中学校でもいいのではないかとということについて、教育長から明確な説明を受け、納得して

いる。事業を進めるためには、今回の補正予算を認めることが必要である。

**室野** 公立の学校で専門教科の先生に教えてもらうことは非常に大事なことである。

**飯田** 10年・20年後に判断して、良かったと思える方向に行くための過程である。文教が一デンシテイ全体の造成基本設計が終わっていないからおかしいと言うが、予算取りなので効率的に進めなければならぬ。

**木村** 教科教室・第2グラウンド・調整池について色々な課題があるから整理し、市民の納得のいくまでしっかりやるべきである。

**飯田** 市民の理解と言うが、100%の市民の理解なんてない。市民の意見のあり方とは何か。

**木村** 子どもにも表現の自由があり、子どもの意見もしっかり聞くべきである。市民には色々な意見があるので、たくさん意見を聞く場をもつべきである。

**青木** 子どもの意見はもちろん聞くべきであるが、子どもに最終的な判断をしたことの責任を問うことはできない。将来の子どものためを考えて、判断することは大人の責任だと考える。

**杉山** メリット・デメリットはあるが、より良い方を選ぶという判断で再編計画が進んでいる。スケジュールに沿って進めるため、業務委託を認めることが適正である。

## 常任委員会行政視察を実施しました

伊豆市議会では、各常任委員会の所管事務について、先進地を視察しました。委員の報告書については、ホームページに掲載していますのでご覧ください。

### 第1委員会 (7/24~26)

- 岩手県洋野町
  - 岩手県久慈市
  - 岩手県一戸町
  - 岩手県盛岡市
- ・東日本大震災犠牲者ゼロだった防災対策
  - ・議会報告会・かだつて会議
  - ・デマンド交通「いくべ号」
  - ・盛岡ブランド推進事業



▲いくべ号

### 第2委員会 (7/13~15)

- 福島県三春町
  - 福島県二本松市
  - 福島県大熊町
  - 福島県郡山市
- ・学年型の教科教室による学校運営、校舎
  - ・子育て支援事業「mamaになるなら二本松」
  - ・全町避難している中での、福祉事業・教育の現状
  - ・認知症総合支援事業（認知症初期集中支援チーム）



▲三春中学校

### 議会傍聴・視聴について

本会議はどなたでも傍聴することができます。当日、本庁2階へお越しください。

なお、団体の場合は、事前に議会事務局までご連絡ください。

本会議の様子は、市のホームページからインターネットにより生中継と録画中継による配信もしていますので、ぜひご覧ください。

(議会事務局0558-72-9906)

### 12月定例会の予定

- 場所 本庁2階 議場
- 時間 午前9時30分～
- 11月28日(月) 行政報告  
議案上程
- 30日(水) 一般質問
- 12月1日(木) 一般質問
- 6日(火) 議案質疑
- 19日(月) 委員長報告  
質疑・討論・採決

※変更となる場合があります。ご了承ください。

### 12月定例会

#### 委員会の予定

- 場所 本庁2階 委員会室
- 時間 午前9時30分～
- 12月7日(水) 第1委員会
- 8日(木) 第2委員会

### 編集後記

伊豆市議会も頑張っています。開かれた議会・市民にわかりやすい議会を目指し、議員全員で「議会報告会〜みんなで語る会〜」を今年5月に市内4会場で行いました。

この様子は前回8月に発行した「議会だより」に、会場の写真や寄せられた意見を掲載しています。内容を何度も精査し現在、議会としての回答をホームページに掲載していますのでご覧ください。今後も引き続き「議会報告会〜みんなで語る会〜」を開催していきます。

議会広報委員 山田元康